

月夜の果て

走る後ろ姿に  
誘われて 群がる人達  
月夜の晩に 現れる 彼  
路地裏に 消えてゆく 影

輝く星空に  
浮かび上がる アドバルーン  
月夜の晩に 現れる 彼  
路地裏に 消えてゆく 影

ある風景

丘に座り込む  
君の瞳に  
光が戯れ  
引き戻された  
ある風景

彼方で叫ぶ声  
重なり合おうと  
反響している  
飲み込まれた  
ある風景

カーニバル

太鼓が鳴り響く  
この村のカーニバル  
青い星へ向って  
人々が溢れだす  
体を揺らして踊り続ける  
闇の底を這い回れ

雷が鳴り始め  
動き出すカーニバル  
手と手を握り合い  
夜空へ舞い上がる  
体を揺らして踊り続ける  
闇の底を這い回れ

私生活

降り続く雨が  
ひとしきり烈しく  
布団の中で肘枕  
寝ぼけた耳にぼんやりと  
足音のように心地良く  
ゆるやかな夢路につく

眠るだけの浮世に  
物憂さが行きわたり  
殻にならない蛻は  
たわいもない空想を抱く  
夜更けのすきま風に  
夢破れて起き上がる